

歌三線

棚原 健太

たなはら けんた

沖縄県出身 沖縄県在住



【所属マネジメント】

株式会社東京コンサーツ

住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

TEL：03-3200-9755 FAX：03-3200-9882

担当：蘭目 幸司 E-mail：kujime@tokyo-concerts.co.jp

やってみたいアクティビティとコンサート

《アクティビティ》

○沖縄の音楽をきいてみよう

- ・古典音楽：琉球王朝時代に、お城（首里城など）で演奏された音楽
- ・民謡：人々の生活や想いを歌い、まちや島々のくらしの中から生まれた音楽

○楽器と音階を知ろう

- ・楽器紹介：三線・琉球箏・笛。それぞれの音色と特徴を知る。
- ・音階：琉球音階をきいてみよう／「琉球音階で〇〇をひいてみた」

○歌をつくろう（即興ワーク）

- ・口説（くどうち）作り：クラスの思い出・地元のいいところなど、短い歌詞をその場で作詞
- ・実演コーナー：できた歌詞を生演奏にのせて発表！

《コンサート》

基本構成

○第一部 | 古典音楽

- ・演奏：曲の背景や歌詞をひもときなら紹介
- ・楽器紹介：三線のつくり・音色・役割など
- ・音階：「琉球音階で〇〇弾いてみた」など、その特徴を聞いて体験

○第二部 | 民謡+滞在トーク

- ・演奏：古典音楽との違い、曲の背景や歌詞をひもときなら紹介
- ・滞在トーク：その土地で見たこと、聞いたこと、感じたことを語る。
- ・その他：歴史やつながりをリンクさせ、その地域ならではの構成にまとめる

自己PR

この活動を行う理由は二つあります。

一つ目は、沖縄の音楽そのものを知ってもらうため。沖縄の音楽にはいくつかの分類があり、時代背景、楽器や音階にも特徴があります。それらを体験しながら自然と全体像をつかめるプログラムを組んでいます。“たのしかった”で終わらず、参加者にとって学びや気づきが生まれる時間を目指しています。

二つ目は、地域の文化を考えるきっかけづくり。アウトリーチの後には「うちの地域にも伝統芸能があります」「祖母が箏を教えています。違いがわかりました」などの声がよく届きます。その土地にはない文化と出会うことで、地域の文化を見つめなおす視点が育つ。それが地域への愛着につながると思うのです。同時に、自分の足元の文化を知ること、多様な文化を理解するための入口になると考えています。

沖縄の音楽を語ることは、私にとって地元を語ることであります。沖縄の伝統に従事している私だからこそ、こうした視点を持ち、伝えることができます。実演だけでなく、芸術が社会やその地域とどう関わっていけるのかという点も大切にしています。それが私の強みです。

PROFILE

沖縄県浦添市出身。中学時代に三線と出会う。数年間独学を続けたのち、沖縄県立芸術大学への進学を機に本格的に伝統芸能の道を志す。同大学琉球芸能専攻では、琉球古典音楽および琉球舞踊・組踊の地謡実技、芸能史を学ぶ。同大学院舞台芸術専攻（修士課程）および国立劇場おきなわ組踊研修（第四期）修了。2019年沖縄タイムス伝統芸能選考会 三線の部 グランプリ受賞。2022年には（一財）地域創造 公共ホール邦楽活性化事業の登録演奏家に選出され、事業初の琉球古典音楽演奏家として派遣地域

でのアウトリーチ、ホール公演を実施。現在は、国立劇場おきなわ主催公演をはじめ、国内外の公演等に出演多数。琉球古典音楽野村流保存会 教師（比嘉康春に師事）。国指定重要無形文化財「組踊」「琉球舞踊」伝承者（歌三線）。沖縄県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者（地謡）。そのほか、自らも運営するYouTubeチャンネル「琉球芸能活動中 - リュウカツチュウ -」は2万人を超える登録者があり、情報発信活動にも取り組んでいる。